

コラム

# みやちゃん と ご一緒体験記

Vol.45

## 哲学で考えるがん教育カフェ編① ～知識ではなく意識の教育～

がんに罹患した本人、その家族や周辺の人々、がん治療に携わる医療人、がん闘病を支える介護従事者など、がんに関わる人々が集い、がんを哲学的に捉えてよりよく生きる術を身につけることを目的とした「がん哲学外来」および「がん哲学外来カフェ」は、がん患者さんの数と比例して増加し、現在では全国津々浦々、数多くのがん哲学外来カフェが存在し賑わいをみせています。

私が浅草（東京都台東区）にある「勝海舟記念 下町（浅草）がん哲学外来メディカルCafe」（以下、「がん哲カフェ」と表記）に足を踏みいれてから、かれこれ7年目となります。浅草のがん哲カフェは毎月1回開催され（コロナ禍中はずっとオンライン開催）、年一回師走にシンポジウムも開催されてきたため、カフェを訪れる人、講師として参加した人、他のがん哲カフェの人など実にたくさんの方々との出会いがあり、参考になるお話を聞く機会を持つことができました。

“みやちゃん”こと宮原富士子さんは、浅草のがん哲カフェの主宰者であり、「社団法人がん哲学外来」の事務局を担当されていて、今年からはさらに“がん教育”普及のために尽力されています。既に各地でがん教育を実践している彦田かな子さんと共に、がん教育を実施できる人材を育てることを目的としたもので、オンライン開催（毎月一回）で現在までに終了した講座は次の通りです。

※哲学で考える“がん教育カフェ”[一般社団法人がん哲学外来 \(gantetsugaku.org\)](http://gantetsugaku.org)

○第1回（4/22土） 17：30～18：30

講師：柴田綾子氏（淀川キリスト教病院産婦人科医）

「産婦人科医が伝えたい「がん教育」で大切なこと」

○第2回（6/3土） 17：30～18：30

講師：坂野貴宏氏（教師）

「春の香り～脳腫瘍と闘った春香からのメッセージ」

○第3回（7/15土） 17：30～18：30

講師：小山廣美氏（看護師）

「愛と命の大切さを伝える」



○第4回（8/26土） 16：00～17：00

講師：青島敬二氏（石川県芳珠記念病院血液内科専門医）

「医師によるがん教育」

ここまでの講演者は、医師、がん患者の家族をもつ医師、がんサバイバー、がん患者の遺族という顔ぶれで、それぞれの立場から経験に基づいたお話しを聞かせてくれました。

がん教育カフェに関しては、内容がかぶる所があるため浅草のがん哲カフェコラムで触れたことがあります、今後はこのコーナーでシリーズ化して継続したいと考えております。

※2023年5月度 がん哲カフェコラム

浅草かんわネットワーク&浅草がん哲学外来 | 勝海舟記念下町浅草がん哲学外来Café (asakusakanwa.net)

今回のタイトル案は、第4回目にご登場いただいた医師の青島先生の講演でのお言葉を参考にさせていただきました。がん治療に携わる医師ではありますががんと無縁というわけではなく、本人や家族ががんに罹患する可能性もあります。先生は、ご家族ががん患者となり、現在は主治医として治療中とのこと。きっと様々な思いを抱えてがんと向き合っていらっしゃることでしょう。

がんという病気に無知な方々に対しては正しい知識をもっといただくことが大事ですが、“病は気から”という言葉どおり、病気になっても負けないという強い心やがんと闘う大事な人に寄り添う心構えなど、意識の教育が求められると強く思いました。